



携帯電話用
二次元コード

今号の主な内容

- 2面 長寿(後期高齢者)医療制度・国民健康保険からのお知らせ
- 3面 学童クラブ利用児童の募集
- 4面 区の財政状況
- 6面 歯の健康を守りましょう
- 7面 豊かなみどりを守り育てよう④
- 8面 年末年始の資源・ごみの収集
- 8面 年末年始の区役所の業務



しんじゅくコール

☎ (3209) 9999

(午前8時～午後10時、1/1～3を除く毎日)

【申込み】往復はがきに記載例(2面参照)のほか参加希望人数(応募者本人を含め2名まで)を記入し、1月13日(必着)までに文化観光国際課文化観光国際係(〒160-8484 歌舞伎町1-4-1、本庁舎1階)☎(5273)4069へ。重複申し込みは無効。小学生以下は保護者同伴。定員410名。応募者多数の場合は抽選。

【会場・内容】四谷区民ホール(内藤町87)
▼第1部 創作落語「坊っちゃん」外伝
出演 三遊亭圓窓
▼第2部 日本舞踊「吾輩は猫である」
出演 花柳寿南海
▼第3部 大喜利
出演 五明樓玉の輔、桂平治、三遊亭萬窓、三遊亭丈二、三遊亭遊雀
【費用】無料

【日時】2月7日(土)午後2時～4時(1時30分開場)

漱石の作品を「創作落語」「日本舞踊」「大喜利」というさまざまな角度から表現します。



新宿ゆかりの文豪 「夏目漱石」の世界へ

漱石山房の発信事業

漱石千思万考

創作落語・日本舞踊・大喜利

新宿区は、明治の文豪・夏目漱石が生まれ育ち、生涯を閉じたまちです。晩年の9年間を過ごした早稲田南町の家は「漱石山房」と呼ばれ、「三四郎」「それから」「こころ」などの代表作が執筆されました。この場所は、今では区立漱石公園として、多くの皆さんに親しまれています。

区では今後、漱石山房の復元に向けた取り組みを進めるとともに、夏目漱石と漱石山房について、情報発信に努めていきます。

【問合せ】文化観光国際課文化観光国際係(本庁舎1階) ☎(5273)4069へ。



手前左:「漱石山房」風に復元したベランダ回廊
右奥:漱石情報発信施設



猫塚(飼っていた小鳥や犬・猫の供養塔)

漱石公園にお出掛けください

昨年の漱石生誕140年を記念するため、平成17年度から地元や公募の区民の方とともに基本設計を検討して、今年2月9日にリニューアルオープンしました。



【所在地】早稲田南町7(東京メトロ東西線「早稲田」徒歩10分・都バス「牛込保健センター」徒歩5分)
【開園時間】午前8時～午後5時(4月～9月は午後7時まで)

漱石公園のリニューアルが 日本公園緑地協会会長賞を受賞

10月31日、(社)日本公園緑地協会主催の平成20年度第24回都市公園コンクールで、設計・施工等で特に優秀とされ、同協会会長賞(企画・独創部門)を受賞しました。

【問合せ】みどり公園課公園計画係(本庁舎7階) ☎(5273)3915へ。



漱石像(区名誉区民・故富永直樹さん作)

漱石公園内「情報発信施設」の 愛称を募集

施設内には、漱石の関連資料やパネルを展示しています。漱石にちなんだ、皆さんに親しまれる愛称を募集しています。



【応募方法】はがきかファックスに愛称を記入し、1月30日(金)までに文化観光国際課文化観光国際係(〒160-8484 歌舞伎町1-4-1、本庁舎1階)☎(5273)4069・☎(3209)1500へ。情報発信施設内でも受け付けます(用紙は備付け)。お寄せいただいた愛称案から数件を選出し、2月7日に開催する「漱石千思万考」(上段左のイベント)の観覧者に投票していただき、決定します。

コラム 新宿 まち・人・しごと

12月はいつもせわしく感じますが、今年の世界経済不況の不安の中、より心細く師走です。新宿ゆかりの文豪・夏目漱石は、92年前(大正5年)の師走・12月9日に早稲田南町でその生涯を閉じました。

▼私にとって漱石は、近代を代表する偉大な作家であるとともに、今日においても説得力を持つ優れた社会批評・文明批評家として魅力的な存在です。日本の近代化に真面目に立ち向かい、考え悩んだ天才漱石は、今、大きく変わろうとする世界をどう見るだろうかという思いにも駆られます。

▼知の巨人「漱石」は、私たちが現実に向き合って「よく生きる」ことの大切さと大変さを伝えてくれていると思います。グローバル化が進む今こそ、新宿の人・漱石をもう一度みなで共有してみたいかががでしょう。

▼区では昨年の漱石生誕140年事業につなげて、漱石が本格的な執筆活動や弟子との交流も行った早稲田南町の「漱石山房」の復元を目指しています。跡地の一部に整備されている漱石公園のリニューアルを契機に設立されたNPO法人漱石山房の活発な活動、漱石山房の復元を進める新宿区議会議員の会の設立など、本心に強い限りです。

▼先行きが不透明で不安である時代、大人たちが現実に真面目に立ち向かい、子どもや若者が社会に希望を持つて羽ばたいていけるよう力を尽くさねば、漱石先生からそっと伝えられているように思います。

区長 中山 弘子
なかやま ひろこ